

科 目	科学と人間生活	学年・類型	1 年 商業科	単位数	2
教 科 書		高等学校 科学と人間生活（東京書籍）			
副 教 材 等		科学と人間生活実験ノート （愛媛県高等学校教育研究会理科部会）			
学 習 目 標	1 自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。 2 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。 3 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。 4 科学に対する興味・関心を高める。 5 科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身に付ける。				
学 習 心 得	1 日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっていくのかを考えること。 2 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや、科学技術は人間生活に不可欠であることを理解すること。 3 最新の科学技術に関する情報収集などを行い、それらと人間生活のかかわりについて記録したり、整理したりすること。 4 情報伝達の手段の変遷には、科学技術が大きくかかわっていることを理解すること。 5 科学技術の発展が今日の人間の生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題について考えること				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	2 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用	・「金属」では、代表的な金属とその用途について学んでいきます。 ・「プラスチック」では、代表的なプラスチックとその用途について学んでいきます。 ・「資源の再利用」では、代表的な資源の再利用について理解していきます。 ・「目に見える光の世界」では、光とは何か、色とは何か、について理解していきます。 ・「光の進み方とその基本性質」では、光の反射・屈折、光の回折・干渉、光の偏光について学んでいきます。 ・「見えない光とその応用」では、電磁波の性質とその利用について理解していきます。			
二 学 期	1 編 生命の科学 1 章 生物と光 4 編 宇宙や地球の科学 1 章 身近な天体と太陽系における地球	・「植物の生育と光」では、私たちの生命を支える光合成のしくみを学んでいきます。 ・「光シグナルと生物」では、植物の生育や動物の行動と光とのかかわりについて理解を深めていきます。 ・「ヒトの視覚と光」では、光を受け止めるしくみ、遠近調節、瞳孔の光反射、明暗順応、視覚と錯視について理解していきます。 ・「天体が刻む『時』」では、人と宇宙をつなぐ暦について学んでいきます。			
三 学 期		・「太陽系の構造」では、光る星である太陽、太陽をめぐる星々、惑星を比較する、について学んでいきます。 ・「太陽が動かす大気と水」では、大気や水の動きと人間生活のかかわりについて学習していきます。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作などの技能を身に付けている。	・定期考査、小テスト ・授業中の活動への取組
思考・判断・表現	観察・実験を通じて得られた結果を分析、解釈して表現するなど科学的に探究している。	・定期考査 ・実験ノートの内容
主体的に学習に取り組む態度	自然現象に主体的に関わり、他者と協力しながら科学的に探究しようとしている。	・授業プリント ・授業態度 ・授業中の発言